

阿波市 議会だより

第15号 [平成22年3月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話0883-35-4118 FAX0883-35-4150

平成二十一年第四回(十二月)

阿波市議会定例会の概要

十二月定例会は、十二月二日から二十一日まで開かれました。開会日には、出口副議長から、議員派遣として第四回全国市議会議長会研究フォーラムへの参加について報告があり、野崎市長から、緊急経済対策関連予算、新型インフルエンザ対策、養護老人ホーム吉田荘の民営化など市政の重要課題、また、県及び四国市長会議における要望事項などについて行政報告がありました。このあと、平成二十一年度一般会計補正予算などの議案について、概要と提案理由の説明がされました。代表・一般質問では、十七人が市政全般について考えを問ひ、平成二十二年度の予算編成、国民健康保険財政、新庁舎建設、農業政策、公共事業への取り組みなどについて議論されました。十四日に総務、十五日に産業建設及び文教厚生各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、各常任委員長による委員会審査報告の後、市長提出議案八件、議員提案された「核兵器のない世界のために被爆国政府の積極的役割を求める意見書」が可決されました。(議決結果の一覧は裏面に掲載しています。)

代表質問

三木 康弘 議員
(阿波みらい)



生徒が最優秀となった。家庭でもヘルシー弁当に取り組んでいる。板野郡西部学校給食組合については脱退の方向で最大限努力したい。

問 飽食の時代となり糖尿病が日本の国民病と言われている。狩猟民族の末裔である西洋人に比べ、日本人にはインスリンの分泌量が三〇〜五〇％しかない。年間一万人以上の糖尿病患者が透析へと移行しているが。
答 市内には三千人程の糖尿病患者がいると推測される。透析患者は腎不全から三十二名、糖尿病から三十七名で現在六十九名。費用については一人約五百七十万円程で年間三億一千万円透析にかかる。
問 糖尿病対策として食改革が必要と思う。まずは学校給食やPTAでの食教育が重要と思う。板野郡西部学校給食組合から脱退し、統一した市の学校給食施策を望む。
答 吉野川保健所管内でヘルシー弁当のコンクールが毎年あり、久勝小五年、市場中一年の

月岡 永治 議員
(志政クラブ)



出口 治男 議員
(阿波清風会)



問 デフレスパイラル化で、法人市民税等の減収の予測は。平成二十年度と比較し、法人税で二〇％、市民税で四〇％程度減収となる見通しである。
問 これからの地域主権に向けた機構改革について。
答 農業後継者の育成指導、特産品、観光資源の活用充実など、産業の発展を目指すため、部の新設、課の再編をし、農政、商工観光関係に係る職員配置の充実などを考えていきたい。
問 庁舎建設について、専門チーム結成の考えは。
答 具体化した段階で、新年度に組織の再編を行い、プロジェクトチームの強化をしたい。
問 今議会の市長の提案理由の説明の中で、支所機能は残すと発言があったが、どこに、どの規模のものになるのか。
答 現在の支所の周辺には利用できる施設もあるので、人員配置等について、新庁舎と並行して考えていきたい。

問 新政権への重要施策の陳情について。
答 民主党県連は、フィルターにかけるのではなく応援団としての役割をしたいと伺っている。徳島戦略局から説明に来ることになっており、要望・陳情を行っていききたい。
問 合併協議で、土成町内に本庁舎を建設すると約束されている。また市長選挙では、合併協定書や土成町の思いを尊重していききたいと公約している。統合による阿波農業高校跡地(二町七反余り)を本庁舎用地として払い下げ要請をする考えは。
答 最大の適地とは思っているが、決断にはまだ少し時間が欲しい。
問 旧美馬郡が阿波市のすぐ上流の吉野川河川敷に、昭和

四十九年からの二十年間、最終処分場として埋め立てている。下流には阿波市水道の水源もある。美馬市、国交省に、安全な方法で早期撤去を求めてほしい。
答 情報収集を重ね、積極的な対応をしたい。

国保運営委員会の意見として、平成二十二年度は改定せず、据え置いてほしいという意見であった。その意見を重く受けとめ、来年度の保険料を据え置く、不足分を一般会計からの繰り入れで補てんするという方法が考えられる。平成二十三年度に、国保税の抜本的な改正が迫られるのではないかと思っている。
問 介護施設に対して、介護保険料を含む介護保険特別会計から、施設介護サービス給付費負担金が支出されているが、施設への指導管理体制は。
答 介護保険課、また県と一緒になって指導監督を強め、利用者からの訓戒がないように十分努力していく。

一般質問

児玉 敬二 議員
(無所属)



問 国民健康保険税の歳入をどのように増やしていくのか。
答 本年度における国保財政の見込みによる試算をみると、繰越金、基金等の繰り入れを実施することにより、辛うじて収支がとれる見込みと考えている。

笠井 高章 議員
(志政クラブ)



問 高齢者が一人暮らしを余儀なくされることもある。高齢の方が生き生きと活動できる、そして高齢者、障害者に優しいまちづくりを進めていくために、福祉バスを運行させる考えはあるのかお尋ねする。
答 阿波市の福祉バスの運行について、庁内協議、また外部委員を交えた検討委員会の中で、十分検討させていただきたい。
問 市営住宅の一部で大変老朽化が進んでおり、環境面でも悪い住宅がある。そこで、地域ごとの市営住宅の現状と、今後の整備計画などについてお聞かせ願いたい。
答 各地域及び各団地の実情に応じたストック活用、既存の住宅の活用を目標を設定し、統廃合を含め、建て替えや戸別改修等を基本とする計画について、今年度と来年度の二カ年をかけて策定したいと思いでいる。

吉川 精一 議員
(阿波みらい)



問 平成二十二年度当初予算の編成について、市長の所信の一端をお聞きかせ頂きたい。
答 政権交代の影響を調べ、個々の農家にも意見を聞いての農業振興策、子育て関係事業の継続等、市民の安心・安全、阿波市のカラーが出るよう努める。農業専門スタッフ配置、市場中、土成小の耐震補強等を計画。
問 八幡の二つの保育所の統合、新築についての考えは。
答 八幡第一、第二保育所は、合併特例債を活用しての新築統合を計画している。保護者、地域の意見を聞きながら、検討委員会の中で検討したい。
問 時勢にあつた行政組織づくりのため柔軟な対応を。
答 市民の目線に立つた組織の改革を指示している。
問 国民健康保険税について、平成二十二年度の見直しは。
答 二十二年度は据え置きという運営協議会の答申の方向で検討させていただく。

岩本 雅雄 議員
(阿波みらい)



問 地方自治功労者表彰について、候補者推薦の基準は。また、生存中に受章できるように配慮いただきたい。
答 春、秋の叙勲で、合併以降公選職一名、公務員三名の方が受章している。基準を満たした方で受章環境等を勘案し、高齢の方を優先に推薦している。
問 ACNの運営に関し、生活保護家庭や所得の低い方に、使料を減免するべきである。
答 条例により集会所等は免除、音声告知器のみの利用は加入負担金も含め免除している。使用料は運営において貴重な財源であるのでご理解願いたい。
問 管理職が手分けして各自治会の総会等に出向き、合併特例債など根幹の部分について正しい情報を市民にお知らせして、庁舎建設に理解をいただき事業を進めるべきではないか。
答 議員にはすばらしい知恵をいただいた。市民にわかってもらえる、声を聞ける方法で説明責任を果たしていきたい。

正木 文男 議員
(阿波清風会)



問 市長として阿波市のあるべき姿をどのように考えているか。
答 「私の阿波市未来プラン」にも掲げるように、人が輝き、安全安心で美しい環境を守り、生活基盤の充実した、産業が発展するまちを目指し、学校教育の充実、子育て支援、道路交通網の整備、農工商支援等によるまちづくりを考えている。

池光 正男 議員
(日本共産党)



問 今議会で市長は庁舎が必要と発言されたが、私は異論を申し上げてきた。市民懇話会ですべての民意の集約とはならないと思う。九月に新庁舎建設について住民の意向確認を行うよう求める要望書、今回は紹介議員五名の請願書が出されているが、どのように対処するのか。
答 今後、庁舎建設の必要性等について、自治会へ説明し、出向くことなどで、市民への説明責任を果たしていきたい。また、基本計画の策定においてパブリックコメント等も取り入れる。

問 大影投票所の復活を望む住民の切実な願いを聞いていただきたい。東かがわ市では、山間部の五名地区に三カ所の投票所を置いている。やる気があれば必ずできると確信している。
答 大影地区の皆様は十分理解しているが、他に山間部がある投票区が数カ所あり、管理執行上からも投票所の再編は困難なことをご理解願いたい。

原田 定信 議員
(志政クラブ)



新庁舎建設に向けた今後のスケジュールに関し、建設場所の選定と予算規模について。

建設用地は、地域のバランス、用地交渉、交通アクセス等の条件をしっかりと頭に描き年度内に向けて鋭意努力したい。建設費は、合併協議会の際の四十億円が基盤にはなっているが、身の丈に合った規模が最も大事ではないかと考えている。

民間賃貸住宅等への支援、「子育て支援のまち阿波市」の宣言などにより、若い人を迎え入れる方策は考えられないか。

いただいたアイデアを早速に庁内で検討したい。宣言については、総合計画との整合性を再チェックしながら進めていきたい。

一人暮らしの高齢の方などへの対策は。

小さなお子さんと一緒に元気づけられる声かけ運動などの包括的な対策とあわせて、要支援台帳の整備を進めたい。

藤川 豊治 議員
(阿波みらい)



農業立市に向けてのその後の取り組みと、営農指導員は何かで、どの機関が担当するのか。

営農指導員はJAが積極的に対応していただいている。七人程度にしたい。農業振興の企画立案、団体との指導ができる専門官を設置したい。

農業建設部の下にある農政課を農政部に格上すべきと考えるが。

農業立市を目指すため、豊かなまちづくりを実現するため、課題に迅速に対応できる機構は必要と考えているので、検討していきたい。

阿波市ケーブルネットワークについて、放送番組の充実と、放送番組を知りたいという声が多い。

自主放送は三名で担当しており、予算や設備的にも制限されるが、審議会で十分検討していきたい。広報阿波の一月号で週間番組表をお届けしたい。

吉田 正 議員
(阿波みらい)



市営住宅の管理状況について、不況等により入居希望者が非常に多い時、年二回の抽選入居方式だけでなく、緊急入居者に対応する優先制度が活用できる入居審査委員会制度を活用するための条例改正の検討は。

入居方法は抽選と一部優先入居制度がある。抽選入居制度は全市一度に行い、特別な緊急入居希望者の対応は丁寧に行う。条例改正は今後検討する。

現在の行政組織は四部制で、部長が広範囲な事業掌握が必要となり、市民サービスの低下が懸念される。四月に機構改革により部を増やし、市民に細かく対応できるように要望する。

平成二十二年四月の組織体制に向け慎重に検討したい。

合併特例債の期限が近づくと、庁舎の必要性、財政状況、基本構想など説明責任を果たす必要と思うが、今後の対応は。

市民と行政が市発展に向け一枚岩になった拠点づくりとして、庁舎建設に邁進したい。

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



公共事業の持つ地域振興と雇用対策について、市の考えは。

目に見えた事業を、雇用の景気の面からも支えられるように計画し、政権交代で変わりつつある公共事業の要望活動も積極的にやっていきたい。

変動型応札相当価格係数を上げる考えはないか。

施工業者の工事価格が厳しい現実を踏まえ、近隣市町の動向も見ながら十分研究する。

阿波市新農業政策戦略部を設け、特産品応援補助制度を設けられないか。

組織、人員配置とも検討し、農・商・工の連携を組み立てながら、流通改革もふまえて、戦略組織を設けていきたい。

農業集落排水事業計画内に、集落排水事業の補助も、浄化槽設置整備事業補助金も受けられない地域があるが。

県の指導を仰ぎながら解決策を検討し、見直しについても考えていきたい。

高齢化社会における交通手段について、本庁舎、支所、拠点病院、主要駅、商店街などを巡る福祉循環バスを走らせてはどうか。

交通機関の空白地帯の解消や地域福祉の充実には、市の交通サービスのあり方を総合的に協議、研究して、高齢者等の交通手段の問題を解消していきたい。

農業立市を目指す阿波市の農業政策は。特に流通販売戦略について。

市役所内に農業政策の戦略課を設置し、農政のプロを養成したい。また、市内の農協の合併を促し、市と一体となり農家経済の向上を目指す。

新政策の農業政策で、阿波市農業に対する影響は。

農政の各事業については、影響は少ないと思っている。米価の個別所得補償制度は、転作の達成農家、共済加入が基本になり、対象となる農家は割以下になると思われる。

松永 渉 議員
(阿波清風会)



新庁舎建設によって、職員を何人削減できるか。

支所の職員数は四十四名。支所を廃止して統合すると、約二十名削減できる。

現在の支所費は約二億八千万円。施設、業務を効率化しても六千万円以上かかる。市民が窓口に来るのは年間約二回、高齢者が買い物や病院に行くのは五十回以上である。公共施設、病院等の巡回バスを三十分間隔で走らせても年間一千二百万円程度である。高齢化社会に向け、支所を廃止し、巡回バスの運行により、今以上の市民サービス向上も検討すべきではないか。

福祉バスも含めて、検討委員会で研究する。

市長の考える阿波市のまちづくり構想は何か。

県下トップクラスの子育て支援等の政策を維持し、「子育てするなら阿波市」を基本に、農業振興と農商工の連携により雇用の場を増やしたい。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)



阿波市ケーブルネットワークの今後の方向性について、平成二十二年四月から指定管理となっているが、どのような手順で進めるのか。また現在の月額千五百円を維持できるのか。更にメリット、デメリットは。

民間の能力を活用しサービスの向上と経費削減を図ることを目的とする。公募をして一月に申請を受け付け、審査、議会の議決を経て四月一日からとなる。使用料は条例に基づき、現在改正の予定はない。加入者への専門知識に基づく説明や柔軟な対応が可能になる一方、経済性を優先した運営になる可能性があり、サービスが低下しないよう常に注視していきたい。

企業誘致し雇用力を高め、人口増の手だてをしなければ、まちの発展に繋がらないと思うが、市長の考えは。また企業誘致の専門部設置の考えは。

企画課長、副市長が、名古屋、京阪神の県人会等に出席し工場誘致のお願いもしている。部の設置は難しいので、商工会とも連携を進めていきたい。

企業誘致し雇用力を高め、人口増の手だてをしなければ、まちの発展に繋がらないと思うが、市長の考えは。また企業誘致の専門部設置の考えは。

企画課長、副市長が、名古屋、京阪神の県人会等に出席し工場誘致のお願いもしている。部の設置は難しいので、商工会とも連携を進めていきたい。

企業誘致し雇用力を高め、人口増の手だてをしなければ、まちの発展に繋がらないと思うが、市長の考えは。また企業誘致の専門部設置の考えは。

企画課長、副市長が、名古屋、京阪神の県人会等に出席し工場誘致のお願いもしている。部の設置は難しいので、商工会とも連携を進めていきたい。

企業誘致し雇用力を高め、人口増の手だてをしなければ、まちの発展に繋がらないと思うが、市長の考えは。また企業誘致の専門部設置の考えは。

企画課長、副市長が、名古屋、京阪神の県人会等に出席し工場誘致のお願いもしている。部の設置は難しいので、商工会とも連携を進めていきたい。

企業誘致し雇用力を高め、人口増の手だてをしなければ、まちの発展に繋がらないと思うが、市長の考えは。また企業誘致の専門部設置の考えは。

また、現在三回の米飯給食を四回にすることも考える。

産業振興とCO2について、阿波市五ヶ年計画でCO2を八十t削減、阿波市総体で二十五万tのCO2を電力だけで出している。米麦は反当一tのCO2を吸収する。CO2の削減に森林は重要で、阿波市には一万haの森林がある。また、特に麦作については補助事業もあり、冬作の推進も図っていきたい。

庁舎は、人であれば心臓である。心臓も各足から手、頭まで大抵胸の中央に位置し、利便の良い位置である。

心臓から阿波市全体に血液が流れるようにという、議員のお話を聞いて本当に感謝している。これだけ重い責任を負わされたのは人生で初めてである。

また、現在三回の米飯給食を四回にすることも考える。

また、現在三回の米飯給食を四回にすることも考える。

平成22年第1回阿波市議会定例会を開催

平成22年第1回定例会は、阿波市議会議員一般選挙（3月28日投票）が執行される関係で、例年より早く、2月9日から3月2日までの会期で開かれています。

開会日には、野崎市長から、行政報告に続き、平成22年度一般会計、特別会計、水道事業会計予算など市長提出議案について、概要と提案理由の説明がされました。

代表・一般質問では、それぞれの議員が市政全般について考えを問いました。

2月22日に文教厚生、23日に総務、24日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

3月2日の閉会日には、各常任委員長による委員会における付託案件等の審査報告、討論、採決が行われます。また、庁舎特別委員会、地域活性化IC調査特別委員会、公営施設(事業)民営化特別委員会の中間報告を、それぞれの委員長が行うことになっています。



議会だより
編集雑感

梅の花も満開になり、野にも春の息吹が感じられるようになりました。私達二十二年の市議会議員は四年間の任期も終りになるうとしています。市民の皆様のご協力により、各議員は市民の代弁者として議会に活発に発言、提言をし、その内容は議会だよりなどを通じて市民の皆様にお知らせしてまいりました。議会広報特別委員会の任期も終りになり、議会だよりの編集に参加された委員の方々にも感謝申し上げます。

国の財政も厳しくなり、地方自治体を取り巻く環境も厳しくなっています。自分のまちの事は自分たちで決める「地域主権」の時代を迎え、地方議会の役割はますます重要となつていきます。新しく選任される委員には、議会広報を通じて、市民の皆様様に活性化された市議会をお知らせしていただくことを願っています。

(江澤)

平成21年第4回(12月)阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第84号	平成21年度阿波市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第85号	平成21年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第86号	平成21年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第87号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第88号	阿波市地域支援事業利用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第89号	阿波市養護老人ホーム設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決
請願第2号	阿波市新庁舎建設について住民に意向確認を行うよう求める請願書	不採択
議案第90号	動産の取得について(教育用コンピュータシステム)	原案可決
議案第91号	動産の取得について(廃棄物運搬車)	原案可決
発議第3号	市議会議員年金制度の廃止を求める意見書の提出について	否決
発議第4号	核兵器のない世界のために被爆国政府の積極的役割を求める意見書の提出について	原案可決